



la marzocco

handmade in florence

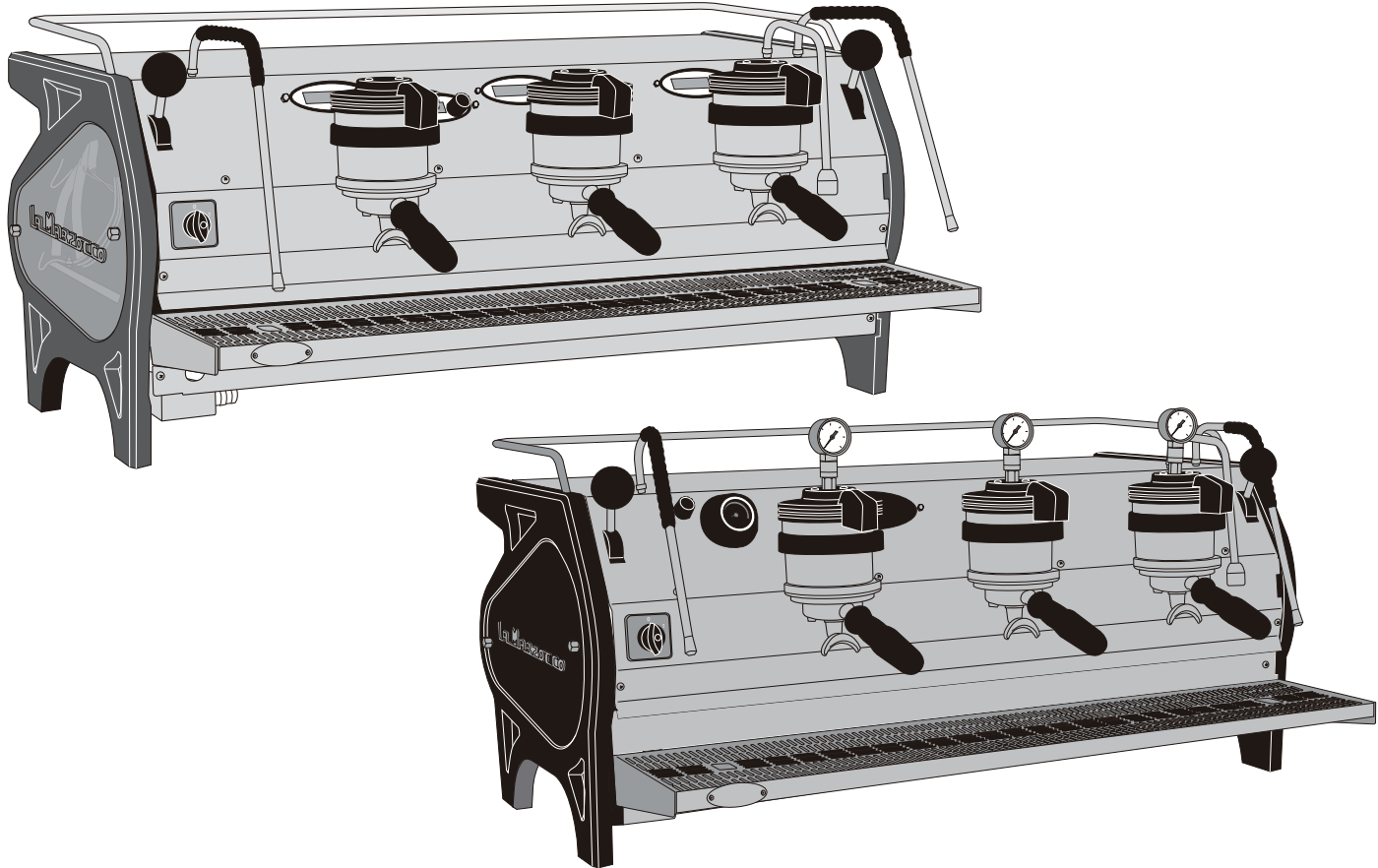
エスプレッソコーヒーマシン

*Strada*

Electronic paddles -2, -3

Mechanical paddles -2, -3

取扱説明書



目次

● 安全上の注意事項	1 ~ 2
● 設置	3
● 各部の名称	4
● 操作方法	5 ~ 6
始業時手順	5
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた	5
コーヒー抽出量の設定	6
熱湯の取り出し方	6
蒸気の取り出し方	6
● プログラム	7 ~ 8
● 清掃	9
抽出装置の清掃 (毎日の清掃)	9
終業時手順	9
● 仕様	10
● 製品保証書、無料修理規定	

このたびは LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシンをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

# 安全上の注意事項

ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。  
表示内容は次の通りです。



## 警告

守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。



## 注意

守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 警告

据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼してください。

アース線は、必ず専用のアース端子に接続してください。

装置を電源に繋ぐ際には、分岐コンセントの使用やタコ足配線はしないでください。

本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備がないようにしてください

電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込んでください。

コード内部が断線したまま使用を続けると、火災の危険性があります。

電源は、漏電ブレーカーを施した専用のコンセントに接続してください。

機械に水をかけないでください。漏電する恐れがあります。

水のかかりやすい場所や、湿気の多い場所には設置しないでください。

濡れた手で機械・コード・プラグに触れないでください。

マシンから水漏れ、蒸気漏れを確認した場合、マシンの電源をぬいて販売店へ連絡ください。

すすぎ中は抽出口やノズルに手を近づけないでください。

顔や手、または他人にスチームノズルを向けないでください。

火傷を負った場合、ただちに患部を冷やし、状態に応じて医師に相談してください。

熱い飲み物でやけどをする恐れがあります。

適切なドリンクの容器のみ使用してください。容器の破損及び、火傷の恐れがあります。

吸・排気口などの隙間にもものを入れたり、手を近づけないでください。

小さなお子様や、不慣れな方が機械に触れない様ご注意ください。

機械に異常を感じたら、ただちに運転を中止し、販売店へ連絡のうえ、その指示に従ってください。

機械の分解・改造は絶対にしないでください。

修理作業は、専門の修理技術者以外は行わないでください。

廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼してください。

# 安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

## 注意

この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。

振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。

電源は設置場所から 1.5m 以内に準備してください。

屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。

高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しないでください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。

機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。

設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。

メーカー推奨の電源電圧でご使用ください。

メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。

給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。

ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。

本機の上に物を置かないでください。

製品にもたれたり、乗ったりしないでください。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。

運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。

清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。

洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。

マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。”

排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。

漏電遮断器は月に 1 回、動作確認してください。

クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。

使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。

洗浄剤をドリンクに混入させないでください。

営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。

断水の際はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。

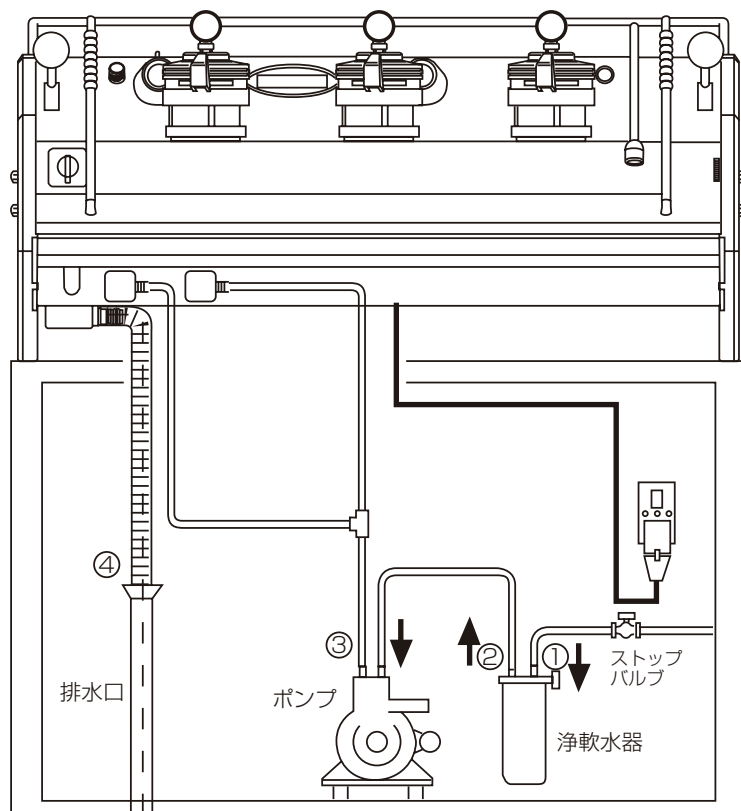
断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積することがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。

設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

# 設置

下記のパーツが入っているかチェックしてください。( )内の数字は、3連用のパーツです。

- ・1人用フィルターホルダー……………1 (1) ・タンパー ……………1 (1) ・排水用ホース [1.5m] ……………1 (1)
- ・2人用フィルターホルダー……………2 (3) ・エスプレッソ洗剤 [560g]……………1 (1) ・ホース留め金 ……………1 (1)
- ・ブラインドフィルター……………1 (1) ・給水用メッシュチューブ ……………1 (1) ・洗浄ブラシ ……………1 (1)



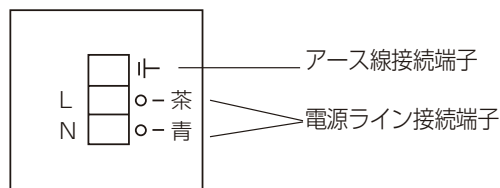
※ポンプ及び浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

## 配管例

- ①接続の前に、ストップバルブより水を十分に流出し、水道管内の異物を取り除きます。
- ②浄軟水器 OUT側の接続前にも浄軟水器に十分に水を通してカートリッジ内の微粉などを取り除きます。
- ③増圧ポンプの IN・OUTを確認してから本体までの配管接続を行ってください。
- ④排水ホースは、できるだけ最短距離を選び、トラップが発生しないようにご注意ください。



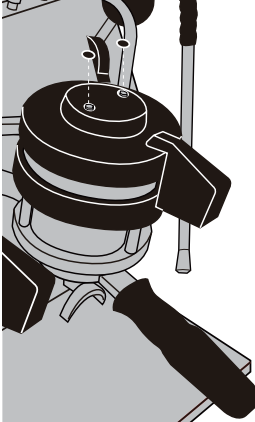
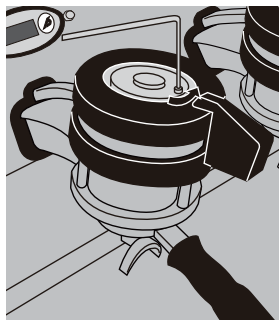
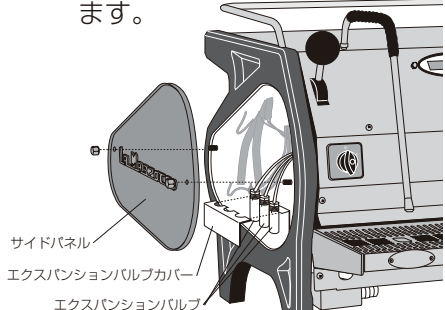
## 増圧ポンプの電源端子



※設置時と浄軟水器の交換時に必ず行ってください。

## コーヒーボイラーの空気抜き

エスプレッソマシンの設置が完了し、ストップバルブを開くと、コーヒーボイラーに水が流入します。流入水がコーヒーボイラー内の空気を圧迫しますので、空気を逃がすために空気抜きが必要になります。

- 1** 各パドルごとにキャップをとり、六角ネジをはずすとプラスチックのカバーがはずれます。  

- 2** 抽出装置の小さな六角ボルトをゆるめます。抽出装置から水が2～3滴出てきましたら空気が抜けた事になります。  

- 3** 左側サイドパネルを開け、手前にあるエクспанションバルブを、抽出中最大 12 barになるよう調整してください。時計回りに回すと圧力が下がります。  


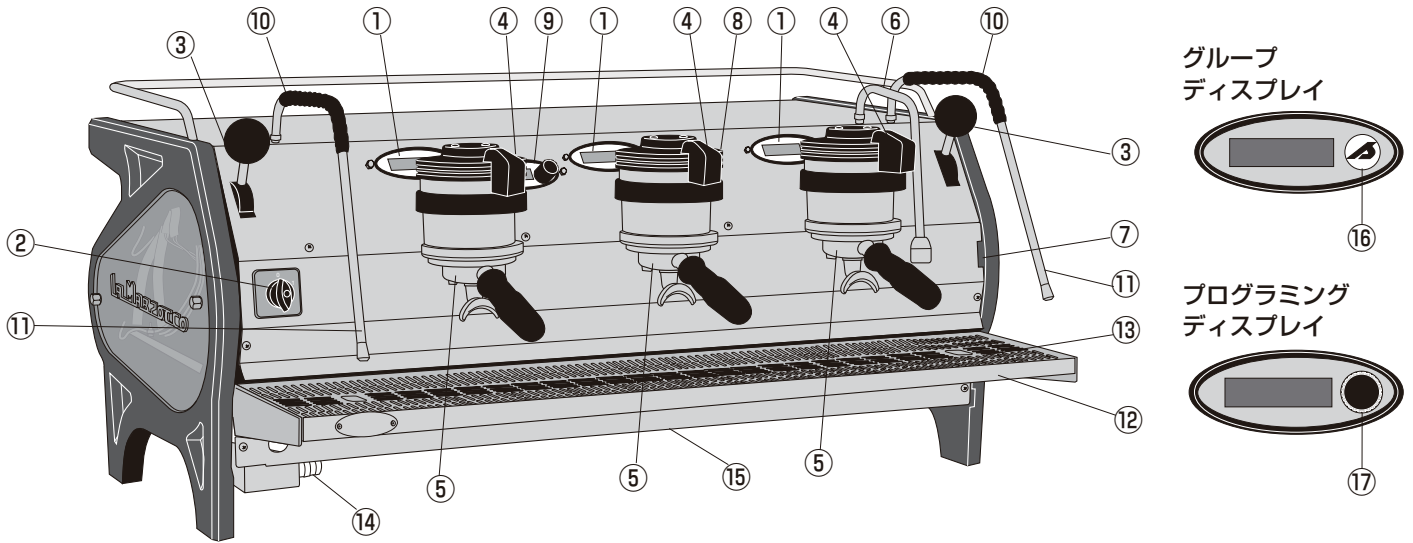
※必ず、1, 2の操作をそれぞれの抽出装置で行ってください。



※EPタイプのサイドパネルはガラスです、取り外しは慎重に行ってください。周辺の部品が熱くなっています、取り外すときはヤケドにご注意ください。

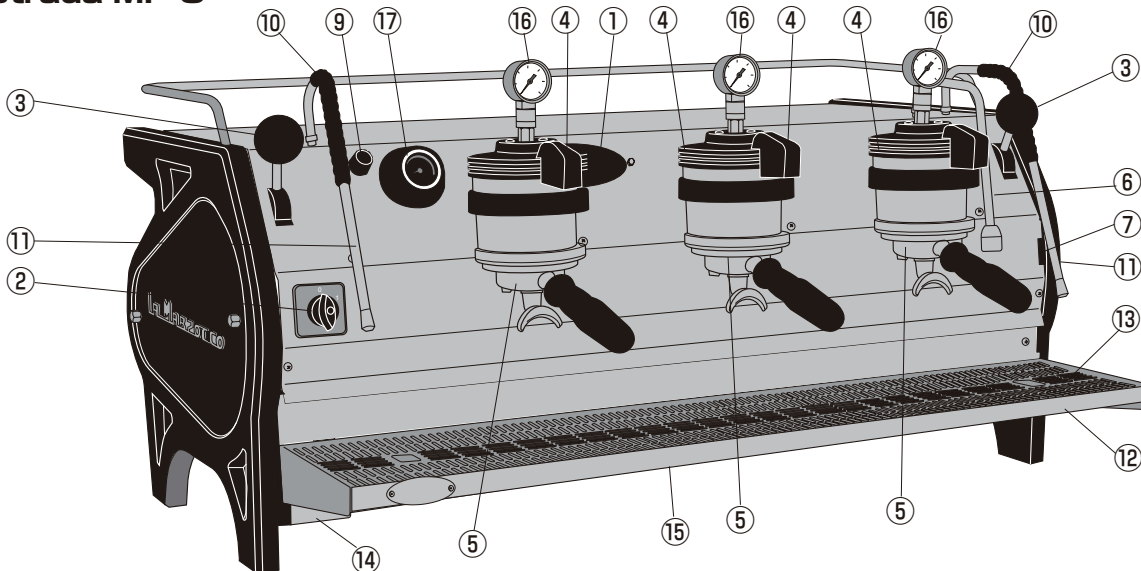
# 各部の名称

## strada-EP3



- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| ①グループディスプレイ      | ②メインスイッチ               |
| ③スチームワンドレバー      | ④エレクトロニック抽出パドルレバー      |
| ⑤エスプレッソ抽出装置      | ⑥ホットウォーターワンド           |
| ⑦ホットウォーターミックスバルブ | ⑧ホットウォータースイッチ          |
| ⑨プログラミングディスプレイ   | ⑩スチームワンドプロテクション (保護)   |
| ⑪スチームワンド         | ⑫リムーバブル (取り外し可能) 排水トレイ |
| ⑬排水トレイ格子         | ⑭排水ホースホルダー             |
| ⑮ USBキーコネクション    | ⑯プロファイルナンバーセレクトボタン     |
| ⑰プログラミングジョブダイヤル  |                        |

## strada MP 3

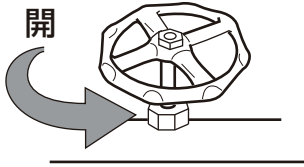


- |                  |                        |
|------------------|------------------------|
| ①デジタルディスプレイ      | ②メインスイッチ               |
| ③スチームワンドレバー      | ④手動抽出パドルレバー            |
| ⑤エスプレッソ抽出装置      | ⑥ホットウォーターワンド           |
| ⑦ホットウォーターミックスバルブ | ⑧ホットウォータースイッチ          |
| ⑨プログラミングジョブダイヤル  | ⑩スチームワンドプロテクション (保護)   |
| ⑪スチームワンド         | ⑫リムーバブル (取り外し可能) 排水トレイ |
| ⑬排水トレイ格子         | ⑭排水ホースホルダー             |
| ⑮ USBキーコネクション    | ⑯圧力計 (抽出圧)             |
| ⑰圧力計 (スチームボイラー)  |                        |

# 操作方法

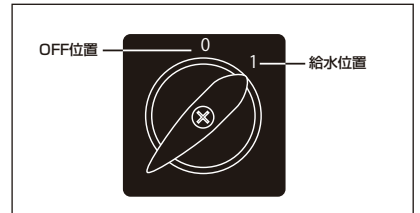
## 始業時手順

- 1** 水道の元栓を開いてください。 **2** 電源スイッチを1（給水位置）に回してください。



(ディスプレイパネルの表示がOFF表示の場合は、抽出ボタンのON/OFFボタンを押してください。)  
ボイラータンク内の水量が減っている場合は、自動的に給水が始まります。  
適量範囲まで給水されれば、自動的に給水は停止します。  
その後、ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かし始めます。

- 3** ヒーター通電中、各ディスプレイの温度表示の右側に□マークが点灯、  
適温になりましたら□マークが消え、適温となり抽出可能です。  
表示が適正圧力まで上がるのに、機種により20分～35分程度かかります。



## エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

パドルを左に動かすと、

EP :0 ~ 12 気圧の抽出圧調整ができます。(抽出圧は、グループディスプレイに表示)

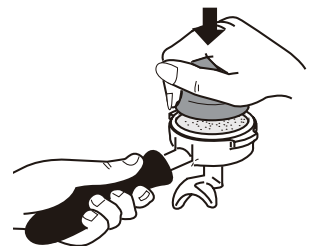
MP :0 ~ 9気圧の抽出圧調整ができます。(抽出圧は、抽出装置上部の圧力計で確認)

- 1** ポルタフィルターが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、  
パドルを左にひねって熱湯だけを出し、ポルタフィルターをあらかじめ  
温めてください。  
(フィルターバスケットはポルタフィルターにセットしておいてください。)



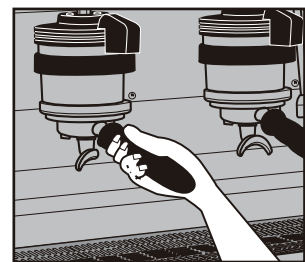
- 2** フィルターホルダーを、抽出装置より外してください。

- 3** ポルタフィルターのフィルタバスケット内に、適量のコーヒー粉を入れてください。



- 4** タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。  
フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

- 5** フィルターホルダーを左約 40°位の方向より抽出装置に入れ、  
正しく納まれば、右方向へ止まるまで回してください。



- 6** 抽出口の下にカップを置き、コーヒーボイラー温度の適温を確認し、  
グループディスプレイ右のプロファイルナンバーセレクトボタンで  
マニュアル、PROFILE 1 ~ 4 を選択し (MPはマニュアルのみ)、  
抽出パドルを左にひねってください。

マニュアル操作では、左にひねるほど抽出圧が上がります。

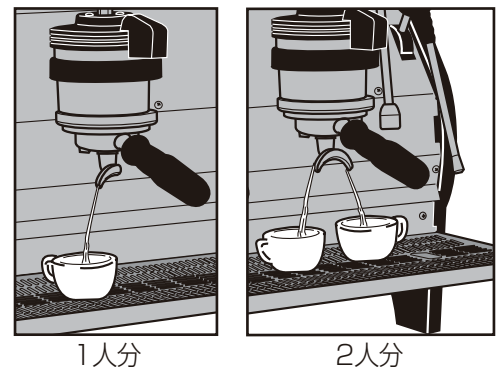


- 7** PROFILE 1 ~ 4 では、設定量のコーヒーが抽出されると、自動的に  
抽出が停止されます。マニュアルではパドルを右に戻すと抽出が停止  
します。

- 8** 抽出後のフィルターホルダー内のコーヒーカスは、すぐに捨てずに  
次の使用時までそのままにしておいてください。

**5**

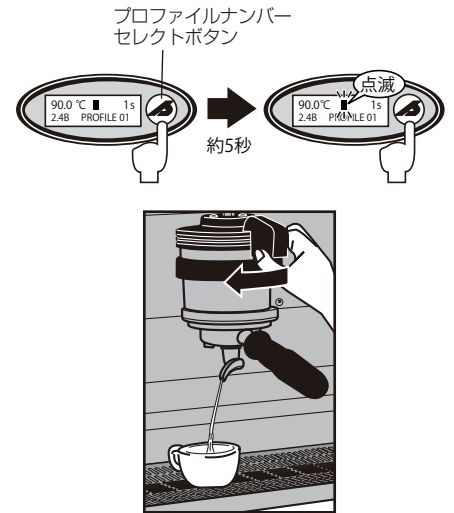
### ■エスプレッソコーヒーカップの置き方



※左右のコーヒーカップの抽出量に  
バラつきがある場合は、本体が  
水平に置かれているか確認  
ください。

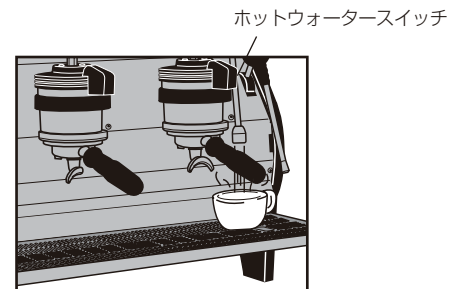
## コーヒー抽出量の設定

- 1 コーヒー粉を入れたポルタフィルターをエスプレッソ抽出装置にセットしてください。
- 2 抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。
- 3 設定したいグループディスプレイ右のプロファイルナンバーセレクトボタンで設定したいPROFILEナンバーを呼び出し、PROFILEナンバーが点滅するまでプロファイルナンバーセレクトボタンを約5秒間長押ししてください。  
実際にパドルを操作してコーヒーを抽出し、適量抽出したところでプロファイルナンバーセレクトボタンを押すと抽出が停止し、変更した設定量が記憶されます。  
※パドル操作でコーヒーの抽出を止めても設定は記憶されません。
- 4 引き続き同じグループ内のPROFILEナンバー（1～4）ごとに3の操作を行ってください。
- 5 他のグループの抽出設定を行う場合は、各グループごとに3の操作を行ってください。



## 熱湯の取り出し方

- 1 ホットウォーターワンドの下に容器を置いてください。
- 2 ホットウォータースイッチを押してください。  
適量の熱湯が給湯したら、もう一度スイッチを押し給湯を止めてください。  
※ホットウォータースイッチは、最右の抽出装置の右側にあります。



## 蒸気の取り出し方

- 1 スチームワンドを、あらかじめドリフトレーに向けておいてください。
- 2 スチームワンドレバーを下ろして開き、水抜きをしてください。  
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。
- 3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームワンドレバーを戻して閉じ、スチームワンドを飲料の入った容器に入れてください。
- 4 再度、スチームワンドレバーをゆっくりと下ろして開いてください。  
使用後は、スチームワンドレバーを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。
- 5 スチームワンドに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。
- 6 その後もう一度スチームワンドレバーを下ろして開き、数回蒸気を出す動作を行ってください。  
そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり、不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

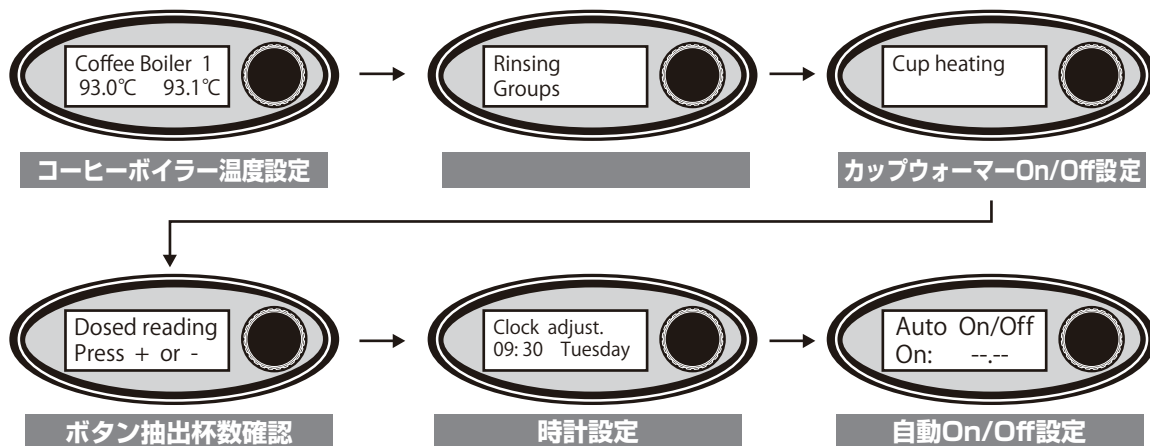


# プログラム

## プログラム一覧

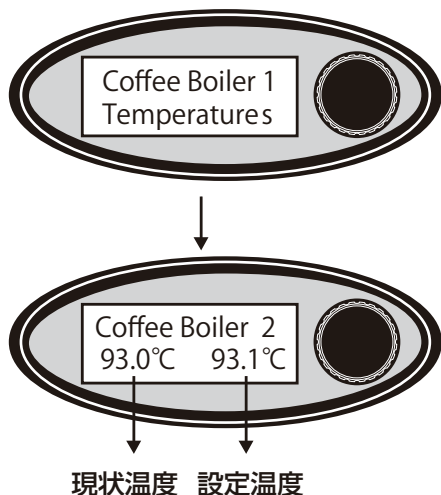
説明イラストは Eでっております。

プログラムモードへは、電源 ONの状態プログラムジョブダイヤルを長押しすることで入ることができます。



プログラムモードで、次の項目に移るには、プログラムジョブダイヤルを押してください。

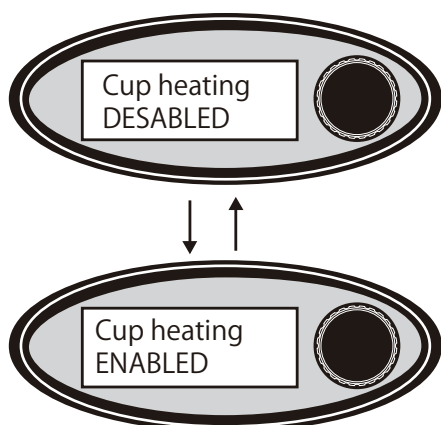
## コーヒーボイラーの温度設定



- 1 プログラミングジョブダイヤルを押し、温度表示状態にします。
- 2 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して設定温度を調整してください。(0.1°C単位で設定可能)
- 3 希望の温度設定になればプログラミングジョブダイヤルを押して次のコーヒーボイラーの温度も設定してください。
- 4 全てのコーヒーボイラーを設定し、プログラミングジョブダイヤルを押して次の項目に進んでください。

## カップウォーマーの設定

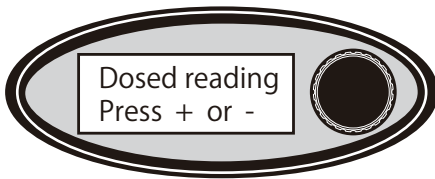
※カップウォーマーはオプション設定となります。  
標準品では、使用不可能(DISABLED)を選択しておいてください。



- 1 プログラミングジョブダイヤルを押し、カップウォーマーOn/Off表示状態にします。
- 2 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して使用可能(ENABLED)か、使用不可能(DISABLED)を選択してください。
- 3 希望の温度設定になればプログラミングジョブダイヤルを押して次の項目に進んでください。

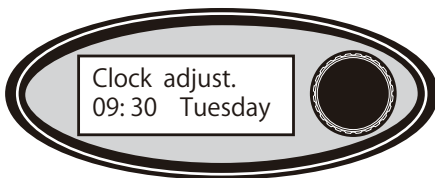


## 各抽出杯数の確認



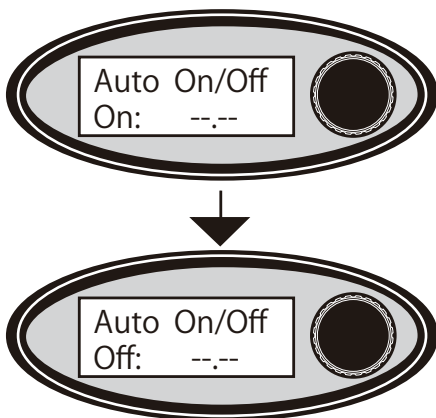
- 1 プログラミングジョブダイヤルを押し、各抽出杯数表示状態にします。
- 2 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して各ボタンの数値をスクロールしてください。
- 3 確認ができればプログラミングジョブダイヤルを押して次の項目に進んでください。

## 時計の設定



- 1 プログラミングジョブダイヤルを押し、時間表示設定状態にします。
- 2 時間表示が点滅しますので、プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して、時間を変更してください。
- 3 プログラミングジョブダイヤルを押して、分表示を変更してください。同様に曜日表示も変更してください。
- 4 プログラミングジョブダイヤルを押して、次の項目に進んでください。

## 自動 ON・OFF 設定

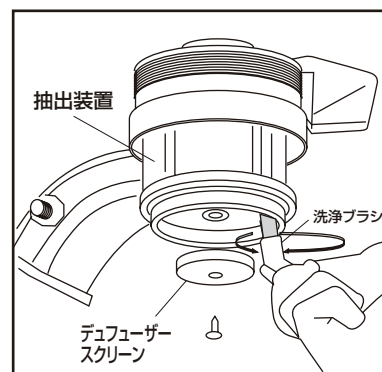
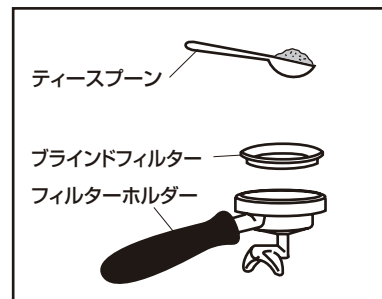


- 1 プログラミングジョブダイヤルを押し、自動ON・OFF設定状態にします。
- 2 時間表示が点滅しますので、プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して、“オン”時間を設定してプログラミングジョブダイヤルを押してください。
- 3 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して、“オン”時間の分表示を設定し、プログラミングジョブダイヤルを押してください。
- 4 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して、“オフ”時間を設定し、プログラミングジョブダイヤルを押してください。
- 5 プログラミングジョブダイヤルを右回し、または左回しに回して、“オフ”時間の分表示を設定し、プログラミングジョブダイヤルを押してください。
- 6 “Closed on(定休日)”項目が表示されますので、マシンをオフにしたい曜日を設定してください。

# 清掃

## 抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 抽出装置より、フィルターホルダーを外してください。
- 2 コーヒーカスを捨ててください。
- 3 付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。
- 4 ブラインドフィルターをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン 1 杯（約 8 g）の洗剤を入れます。
- 5 フィルターホルダーを抽出装置に取り付けて、パドルをひねり約 30 秒間湯を送り、5 秒間停止します。
- 6 さらに約 10 秒間パドルを左にひねって開き、約 10 秒間パドルを右に戻して閉じるを 10 回程繰り返してください。
- 7 フィルターホルダーを外し、10 秒間パドルを左にひねって開き、5 秒間パドルを右に戻して閉じるを 5 回以上繰り返してすすぎ洗いしてください。
- 8 再度、洗浄した抽出装置のパドルを開き熱湯を出し、デュフューザースクリーン部をきれいにすすぎ洗いしてください。  
注意：洗剤成分が残らない様に、すすぎ洗いを必ず行ってください。
- 9 フィルターホルダー、ボルトフィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。

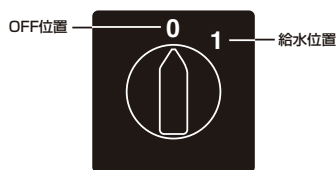


## 終業時手順

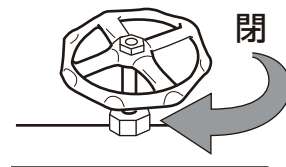
終業時の一連のクリーニングが終了したらメインスイッチを“0”（電源 OFF）の位置にして、水道の元栓を締めてください。

- 1 EP：プログラミングジョブダイヤルを 3 秒間長押しします。  
ディスプレイは“OFF”を表示。  
MP：エンコーダーを 3 秒間長押しします。  
ディスプレイは“OFF”を表示。

- 2 電源スイッチを 0（OF位置）の位置に回します。



- 3 水道の元栓を閉めます。



# 仕様

LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン		
モデル	Strada EP-2	Strada EP-3
外形寸法 (mm)	幅 800 / 奥行 675 / 高さ 475	幅 1000 / 奥行 675 / 高さ 475
重量 (乾燥重量)	85kg	102kg
電源：消費電力	単相 200V：4500W 30A	単相 200V：5500W 30A
ボイラー容量	コーヒー：1.3ℓ×2、スチーム：8.2ℓ	コーヒー：1.3ℓ×3、スチーム：11.8ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯/h	600杯/h
熱湯抽出能力	18ℓ/h	20ℓ/h
初動沸き上がり時間	20分	30分

LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン		
モデル	Strada MP-2	Strada MP-3
外形寸法 (mm)	幅 800 / 奥行 675 / 高さ 475	幅 1000 / 奥行 675 / 高さ 475
重量 (乾燥重量)	85kg	102kg
電源：消費電力	単相 200V：4500W 30A	単相 200V：5500W 30A
ボイラー容量	コーヒー：1.3ℓ×2、スチーム：8.2ℓ	コーヒー：1.3ℓ×3、スチーム：11.8ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯/h	600杯/h
熱湯抽出能力	18ℓ/h	20ℓ/h
初動沸き上がり時間	20分	30分

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

# 製品保証書

型式	機番	保証期間
お客様様	お名前 様	お買上げ日より1年
	ご住所 〒	お買上げ日
	電話 ( ) -	* 年 月 日
*販売店名		
住所		
電話 ( ) -		

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
  - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
  - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
  - (ホ) 本書のご提示がない場合。
  - (ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
  - \* この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

**ラッキ-コ-ヒ-マシ-ン** 株式会社

事業所については  
こちらをご覧ください

